

SSK 銀鈴増刊



ぎんれいだより

H 29 年秋号

喉頭ガンと術後の生活 廣瀬 肇 (銀鈴会常任顧問) 東京大学名誉教授

日本人の2人に1人は生涯のうち一度はガンになる時代となりました。これは、寿命が延びたことの一つの現れで、昔はガンになる前に寿命がきていたのです。ガンのうち喉頭ガンは肺、胃、大腸ガンに比べると、なる人の数は20分の1程度です。また喉頭ガンでは、ある程度進行していても6割以上の人が治療後



編集：公益社団法人銀鈴会
東京都港区新橋 5-7-13
ビュロー新橋 901
電話：03-3436-1820

1971年6月17日第3種郵便物認可
(毎月6回5の日・0の日発行)
SSK 銀鈴臨時増刊 ぎんれいだより
NO.6 2017年10月5日発行
増刊通巻第5013号 定価50円
発行：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102

5年以上元気でいます。元気でいるためには治療後にも主治医とよく連絡し、受診時にメモを用意して、伝えたいことや聞きたいことを書いて渡すのが有効です。

術後の最大の問題は声が出なくなることです、このため引つ込み思案になるのが最もいけません。どんな形でも人とコミュニケーションをとることが大事で、ラインやツイッターも悪くありません。しかし何と云っても教室に出るのが一番です。食道発声が理想ですが、話が伝わるというところが肝要なので、はっきり、ゆっくり話すのが練習のゴールです。大きい声はいりません。

なお、高齢者としては、生活習慣病に注意して、元気で過ごすことを目指しましょう。

本稿は9月19日(火)の教室でのスピーチ要旨です。

平成29年第63回 銀鈴会定期総会

平成29年6月17日(土)東京都新宿区南元町の東医健保会館に於いて、標記総会を開催いたしました。

渡邊理事の司会により、議決権を持つ会員数872名、本日出席者数147名、委任状出席者数395名、合計542名で62%、定款第18条に基づく総会の成立が宣言されました。

松山会長の挨拶に続いて、ご来賓の厚生労働省の堀江裕様(代読 吉田正則様)、東京都の高原俊幸様、東京都身体障害者団体連合会の小西慶一様(代読 菅谷為太郎様)よりご祝辞を頂き、日喉連各団体の紹介がありました。

白川充彦氏、塚邊幸雄を議事録署名人名に指名して2件の議案と報告事項について審議を行いました。提出議案はすべて原案通り承認可決されました。



平成29年 第63回 声の祭典

定期総会に続いて「声の祭典」が白川理事の司会で開催され、コンテスト出場者、会員さんやご家族の方々が多数来場されました。

出場者は3分間の持ち時間の発表で、食道発声部門では声友クラブから3名、上級クラスから8名、中級クラスから3名、初級クラスから1名、更に初心クラスからも1名、の計16名が出場しました。EL部門では3名の出場があり、今回の出場者19名のうち女性は4名でした。

デモンストレーションとして宮崎義将さんのシャント発声が披露されました。

小林範子審査委員長他、9名の審査委員の審査の結果、食道発声の部第1位は川崎光夫氏、ELの部第1位は鈴木正子氏でした。

審査の点数集計を待つ間に、アトラクションとしてバイオリン奏者加藤玲名さんの演奏があり、その美しい音色に癒されました。



小林範子審査委員長 講評

ELの方は3名の方々全員が明瞭なスピーチだったと思います。理由はELの当て方が正確であったことと、正しく当てないと雑音が入って聞き苦しくなります、もう一つはスイッチの切り方で、句読点もしくは単語の途中で切る時にスイッチのオンオフの操作が見事であったことです。

食道発声では皆さん練習を充分さされていらしたようで言い淀みがありませんでした。

今後コンテストに出る方が気を付けた方が良くと思われることは、話す態度ですが、覚えてきたことを一生懸命にしゃべるのではなく、聴衆に語り掛けるというような感じの話し方をされるように気を付けると良い。と講評をいただきました。



**国際協力事業活動
JICA草の根技術協力事業**

銀鈴会は63年の歴史の中で、喉頭摘出者の声を取り戻すボランティア活動を通じ、国内は勿論のこと国外においても積極的に活動を展開しています。結果として国内外の失声者が声を取り戻し社会参画、社会復帰に貢献しております。

現在検討中の国際協力活動は、独立行政法人国際協力機構（JICA）の開発途上国への国際協力事業制度「草の根技術協力事業」に参加し、ベトナムにおける喉頭摘出者協会および食道発声教室の設立支援です。また申請準備段階ですが、以下にその概要をご報告いたします。

草の根技術協力事業（以下「草の根事業」）は、国際協力の意志を持つNGO、大学、地方自治体および公益法人等の団体による開発途上国の地域住民を対象とした協力活動を、JICAが政府開発援助（ODA）の一環として促進し、助長する事業です。事業の規模・期間は1千万円以下・3年以内です。（JICAの本事業説明資料より引用）

銀鈴会の国際活動については、1984年に喉摘出者団体アジア連盟

（AFLA）を創設し、その後10年に亘る国連の助成を得てAFLA加盟13ヶ国から研修生を受け入れ、発声訓練指導者の育成と加盟国の都市に喉摘出者協会の団体設立を支援してきました。現在AFLAの加盟は14ヶ国ですが、AFLA創設時にはベトナムは紛争地域ということもあって、AFLAに加盟出来る体制が整っていませんでした。

この度、ホーチミン市立腫瘍病院（HCMOH）からの協力要請もあり、早急に失声者への継続的支援体制構築の必要性が高まり、JICAの国際協力制度により、支援活動を行うことを計画しました。

本事業は2年計画で、事業終了時には、①ベトナム喉摘出者協会の設立とAFLAへの加盟、②発声訓練教室のベトナム側での継続的な運営です。

銀鈴会の支援は、発声訓練士3名（1回目は4名）を2週間、計5回派遣し、現地失声者に発声訓練を行います。訓練を受ける失声者は50名程度を見込んでおり、その中から指導員候補を選抜し、発声訓練士として認定後は発声訓練教室の運営に携わっていただきます。

ベトナム喉摘出者協会設立については、銀鈴会のノウハウを伝授するこ

とで、設立に必要な定款、細則の作成などについて支援を行います。申請時期は10月頃で、審査を経て事業採択が決定いたします。次号の「ぎんれいだより」ではその結果を報告できると思います。



AFLA活動 2012年8月バングラデシュ食道発声研修

**会話補助装置 パワギガM
是非お手元に**



日常生活用具の申請が可能です。

全日本相撲甚句協会
第19回発表大会

平成29年3月25、26日に、今年も恒例の全日本相撲甚句協会の発表大会が両国で盛大に開催されました。協会の山下晃生会長のお招きに預かりまして出席してまいりました。

今年、甚句協会の国錦師範の念願でありました「相撲甚句会館」が昨年春に開設された会場で行われ、会員数も増えたとの事で、発表大会は3月25日(初日)と26日(千秋楽)の2日間にわたり、全国19団体が出場して盛大に行われました。

この相撲甚句協会は、自分達が大きな声で歌を唄っていられるのも、丈夫な声帯があればこそで、声帯を失った銀鈴会の会員の活動の一助になれば、とのご趣意で毎年発表会にあたってプログラム販売代金の一部や、会員様のご寄附を我々銀鈴会に贈呈下さっております。今年も72000円の貴重なご寄附を頂き、銀鈴会を代表して心よりの御礼を申し上げます。(木村孝 記)



声友クラブの紹介

元気の『声友クラブ』

この声友クラブ紹介を書くのは数回になります。最近は入会者が増えて、益々賑やかになっています。特に今年の入会者は17人と、ここ数年で最も多い年でした。

しかも皆会話に長けています。カラオケが苦手ですと言いながら、マイクを握ると、どうしてかなりの歌のうまさです。カラオケで歌が歌えれば会話などどうってことはありません。先般発行された銀鈴会紹介DVDにも常勤顧問の広瀬肇先生も言われる食道発声の会話には、カラオケが重要な訓練の手段であるという言葉を心して思い起こします。兎にも角にも我々の主題は会話です。

声帯なんか無くたって食道発声で喋ってやるの心意気です。声友クラブはこの会話の復活のために労を惜しみません。カラオケばかりではなく、文学的な朗読の発声、ピアノ伴奏による唱歌の発声、親睦行事での忌憚のない意見交換等、あらゆる場面で会話の上達に挑戦しています。私達はとなく失われた声の復活が第一主題です。更に歌も歌えればこれに越したことはありません。声

友クラブは声を失った者同士の親睦、融和、明るく楽しくをモットーに日々精進しています。どうぞ声友クラブを覗きにきて下さい。なんとも言えないフンワリの雰囲気でお互い切磋琢磨しています。声友クラブに栄えあれ!! (田島 義則 記)



会話補助に欠かせない
筆談用ボード販売開始

コンパクトだから
片手で
持てる!



公益社団法人銀鈴会 事務局 高梨泰弘
〒105-0004 東京都港区新橋 5-7-13 ビュロー新橋 901
TEL : 03-3436-1820 FAX : 03-3436-3497
E-mail : office@ginreikai.net
ホームページ : <https://www.ginreikai.net/>

お問い合わせは



生産者の顔が見えるお茶

静岡・川根茶産地直送



♡賛助会ご加入とご寄付のお願い♡

身近な方々の

ご理解とご協力をお願いいたします。

~~~~~

年会費

- ・法人賛助会員 1口 5,000円 6口以上
- ・個人賛助会員 1口 5,000円 1口以上

~~~~~

ご支援ありがとうございました

ご寄付及び賛助会費を頂戴いたしました皆様 平成 29 年 9 月末日現在（五十音順 敬称略）

アシダ音響株式会社、株式会社アトスメディカルジャパン、株式会社岡村製作所、株式会社オフセットクリーン、鹿島建設株式会社、三協立山株式会社、株式会社スーパーポテト、医療法人社団順康会、株式会社鈴木保有社、住石ホールディングス株式会社、住友林業株式会社、関野運輸株式会社、泉工医科貿易株式会社、全日本相撲甚句協会、綜研化学株式会社、株式会社ソリューションハウジング、第一医科株式会社、株式会社第一興商、大新土木株式会社、大成倉庫株式会社、株式会社大染、株式会社大和証券グループ本社、大和ハウス工業株式会社、株式会社テラ、株式会社電制、東京ガレーヂ株式会社、南武建設株式会社、ニチハ株式会社、日本ガレーヂサービス株式会社、有限会社野沢正光建築工房、株式会社ハーフ・センチュリー・モア、株式会社ハウスメイトパートナーズ、橋本総業株式会社、原田産業株式会社、株式会社福祉施設共済会、株式会社プロティア・ジャパン、三井住友カード株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社明電舎、株式会社名優、株式会社メディカルコーチ、山崎製パン株式会社、株式会社レーサム、株式会社ロッテ、和以美株式会社、株式会社ABC店舗、SMBC日興証券株式会社、TOTO株式会社、YKKAP株式会社

青木佑一、秋元一郎、秋元洋一、浅香高秀、朝田禮一、足立健之助、雨宮慎一、有巢皓三、安藤京子、安藤純一、飯島敏禎、飯塚惟久、飯沼正宏、五十嵐雅勝、池田美代、石井恭平、石川和子、石河文子、石川眞佐子、石田研吾、石塚吉輝、石原文雄、市田治弥、市吉將浩、井手麻喜子、伊藤仁、犬山正人、井上貴之、井上洋一郎、岩崎堅司、岩崎伸、岩間和夫、上田貞行、上田繁、上原七司、上樫政隆、宇佐美昭夫、薄井誠、梅本眞也、江口仁、榎本眞理、江原澄、江原里美、江原節子、大井卓雄、大條文也、大塚和男、大貫貞子、大貫美智子、大野勇三、大浜保道、岡島正恒、岡田悠紀子、岡戸富美子、小川秀子、奥島茂、奥原修、刑部勝巳、鬼沢直維、笠貫達也、梶山和秀、柏瀬幸弘、加藤紘一、加藤芙美子、金子豊巳、片山浩晶、金崎勝男、茅史郎、川井栄助、川崎光夫、川鍋千枝子、神立喜三郎、岸健作、城所忠男、木下勝男、木元英明、清田次郎、楠本哲、窪井純子、久保力男、熊川喜代司、栗原弘、小池信司、小谷昌司、小濱利重、小林宏、小室耕一、権平清、近藤章、齋藤大、齋藤隆、齋藤幹男、齋藤隆治、左海省司、酒井弘子、坂上典子、相樂多恵子、佐久間博、佐々木昭夫、佐竹英三、佐藤和人、佐藤圭吾、佐藤賢治、佐藤茂樹、佐藤隆史、佐藤喜重、佐野幸孝、山後弘子、山後祐介、鹿内健悦、宍倉康雄、篠清市、篠田乃武子、篠奈津子、篠美登里、柴尾邦江、柴田清、芝満雄、島田厚子、島田初夫、島田真由美、清水泉、清水和夫、清水勢津夫、清水保良、朱宮裕子、正願地孝子、杉山喬、鈴木邦忠、鈴木時子、鈴木敏彦、鈴木文雄、鈴木正子、鈴木三智子、鈴木光子、すずらんの会、隅谷貞子、相馬麻衣子、醍醐輝世、高橋健二、高橋敏夫、高橋剛、高橋もと子、高橋泰明、高原明美、高山幸明、武田達幸、武田祐爾、田尻直樹、田代豊、橘巖、立石善一、田中高、棚橋武子、谷貝忠秋、田原武志、辻文子、寺澤永祥、富樫義郎、栃木謙治、永井一男、永井芳子、中西昭雄、中西かよ子、中西正夫、中野博幸、中村明美、中村宗夫、名越一郎、新美典子、西田真哉、西敏子、西野宏、西村恵三郎、新田清剛、長谷川サイ、長谷川正一、服部カツヨ、花嶋良直、馬場金五郎、浜野耕平、林芳紀、原口健次郎、半田建二、東幸子、引間善二、檜森聖三、平澤玉吉、平林育宏、藤原桂子、藤森良一、二木芳彦、瀧本義山、古川寿、古谷等、星芳文、本田学、本間廣俊、前田知子、牧野清、正木壽子、増田惣一、増田正毅、松清平、松下成孝、松嶋宏、松田幸雄、松田行雄、松本博、松山光志、松山寿美子、松山雅哉、松山雅則、眞辺致一、三浦和子、右田正隆、三沢健二、水島雅晴、水谷昇弘、三田村一雄、宮原厚夫、宮本啓三、宮本貢、村田恵子、村松繁雄、村本高史、森本孟子、八木清文、矢島藤人、矢代三江、安田祥子、安野智、柳葉君代、柳葉藤枝、山岡弘尚、山岸正央、山口春吉、山口平男、山崎浩子、山田善宣、山寺勉、山本勇、山本一雄、山本恵子、横井俊三、横江良市、吉田一男、吉田伸弥、吉田久乃、吉田美保子、脇田誠照、和田栄子、和田重章、和田征勇、和田義文、渡辺忠義、渡邊鐵雄、渡邊正雄、渡邊操、渡三夫、王美林、H. H.、H. K.、H. M.、H. T.、I. K.、I. N.、K. A.、K. M.、M. J.、N. M.、N. T.、O. T.、O. Y.、S. K.、S. M.、T. M.、T. K.、Y. S.、Y. N.、Y. Y.